



宮司プレス 第二百六号

彦島八幡宮 宮司 ニューズ

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和五年十月三十一日

◇宮司の柴田です。歳月の歩みは速度を上げ

たかのように思われます。それもそのはずで、

二ヶ月表記のカレンダーは、残すところ一枚と

なりました。加齢と共に、月日がたつのが早

く感じられるようになりました。宮司プレス

既刊号の九十三号(平成二十六年三月発行)に

詳述しましたが、「年寄りの一年は、早い」と

いう人々の実感を、心理学で説き明かした

のが、「ジャーネの法則」というものです。

これは、十九世紀のフランスの哲学者でもあ

り作家のポール・ジャーネが、説き明かした

法則なのです。「歳なんジャーネの」とい

う「ジャーネの法則」ではありません。そ

れは、こういうことなのです。「生涯のあ

る時期における時間の心理的長さは、年齢の

逆数に比例する」ということで、さらに、

「主観的に記憶される年月の長さは、年少者

にはより長く、年長者にはより短く評価され

る」のだそうです。つまりは、私は、六十

一歳であります。私にとっての一年は、人

生の六十一分の一になります。そう考えま

すと、私の一年は、六歳の十年に匹敵するこ

ととなります。他にも、諸説あるらしいの

ですが、そのひとつが、身体からだの代謝たいしゃです。身

体の代謝が低下しますと、体感時間たいかんじかんが、ゆっ

くりと進みます。その結果、現実の時計に

おいていかれ、時の流れが加速しているよう

に感じるのです。心理的には、早く感じら

れても、実際には同じ時間なのですが、実

に魔訶不思議まかふしぎであります。

◇今、世界経済は、「三重苦さんじゅうく」という状況に

見舞われているそうであります。ひとつは、

ロシアによるウクライナ侵略です。もうす

で、一年九か月にもおよんでいます。二

つめは、中国経済の低成長、経済成長の減速

です。この二つは、従来のリスクですが、

さらに、三つめとして、中東情勢の悪化とい

う新たな懸念けんねんも加わりました。今回の中東

動乱は、これまでの状況とくらべて、かなり、

深刻な様相ようそうです。EU、ヨーロッパ連合に

加盟する二十七国にも、イスラム教徒の方が

たくさんいらつしやるので、なかなか統一した行動や声明が出せないのも実情です。今は亡き国際政治学者のサミュエル・p・ハ

ンティントンさんは、「文明の衝突しゅうつう」という

著書のなかで、世界は八つの文明に分けられ、

国を超えて文明の衝突が起きると警鐘けいしやうを鳴

らしておられました。ロシアとウクライナ、

中国と米国の関係、中東の動乱、まさしく、

文明の衝突にはかなりません。その八つの

文明の中で、一つの国で一つの文明は、日本

だけあります。

◇哲学者で思想家の安岡正篤やすおかまのひろさんは、「遇得

謂幸 自造謂福」、「たまたま得るを幸いとい

いい 自ら造るを福という」とおっしゃいま

した。巡り合わせがよく、偶然ぐうぜんに得られた

ものは、「幸い」で、一方、自ら努力して積み

上げていくものは「福」であると論ろんされまし

た。まさに、私共は、安岡正篤さんのおつ

しやる、「たまたま日本人としての幸いを得

ている」といえるのではないのでしょうか。

そうであるならば、「時がたつのが早い」と悔

やむより、加齢と共に加速するのが必然なら

ば、前向きに受け止め、「一日一生」の思いで生活をするよう心掛けることの方が、よりよい生活、生活の質の向上、クオリティ オブライフのような気がします。 今日一日、自分には果たしてどれだけの福を造り得たか、謙虚かえりに省みる、ゆつくりと流れる時間、「夕べに感謝」という敬神の時間を持ちたいものです。 万山錦秋のみぎり、御自愛ください。

◇十月の祭典行事報告(予定も含む)

▼月次祭 *十月一日、十五日

▼花手水

*一回目 十月七日〜十月十二日

*二回目 十月二十日〜十月二十八日

▼貴布祢神社月次祭 *十月一日

▼秋季例大祭

◇六連島八幡宮

*前夜祭

十月四日

※各家の戸別祓い齋行
こべつばら

※湯立神事齋行
ゆたてしんじ

*本殿祭、御神幸祭 十月五日



◇田の首八幡宮

*前夜祭

十月十四日

*本殿祭、御神幸祭

十月十五日



◇彦島八幡宮

*前夜祭

十月二十日

*本殿祭

十月二十一日

*御神幸祭

十月二十二日

※無形民俗文化財「サイ上り神事」齋行



◇舞子島八幡宮例祭 十月十九日

◇朝粥会 十月二十一日

◇十月の宮司動静(予定も含む)

▼神社関係団体

□早起会参拝 *十月一日午前六時半

□敬神婦人会奉仕作業 *十月十五日

□奉賛会秋季例大祭設営作業、奉仕者説明会

*十月十八日

□彦島八幡宮リーグ監督会議

*十月二十三日

□彦島リーグ試合冊子広告挨拶回り

*十月二十六日

▼神社庁関係

□山口県神社庁役員会 *十月十七日

□山口県神社庁支部長事務局局長会議

□神宮大麻頒布始祭

□臨時協議員会

*十月十八日

▼自治会、学校関係

□迫町自治会役員会 *十月十八日

▼教誨活動(美祿社会復帰促進センター)

□集合教誨女子 *十月二十三日

□その他

□柴田節子先代宮司夫人神葬祭
しんそうさい

▼その他

◆帰天奏上 *十月九日
きてんそうじょう

◆通夜祭 *十月十日

◆葬場祭、火葬祭、帰家祭、十日祭

*十月十一日

◆服忌により祭典神事奉仕禁止
ぶつき

*十月十日より十月十四日まで

※神社本庁より「除服出仕」の辞令発令、一日

繰り上げて、十月十四日より出社

※神社本庁より「除服出仕」の辞令発令、一日

繰り上げて、十月十四日より出社

繰り上げて、十月十四日より出社

繰り上げて、十月十四日より出社

繰り上げて、十月十四日より出社

繰り上げて、十月十四日より出社

繰り上げて、十月十四日より出社

繰り上げて、十月十四日より出社

繰り上げて、十月十四日より出社

繰り上げて、十月十四日より出社